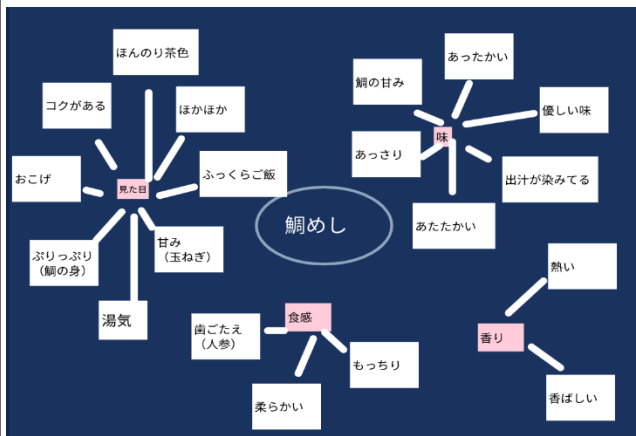


言葉を集めよう ーもっと「伝わる」表現を目ざしてー

【内容】集めた言葉を使って、もっと伝わる表現で紹介しよう。

【使用アプリ】ロイロノート

【事例紹介】1年生国語科では、「言葉を集めよう ーもっと『伝わる』表現を目ざしてー」という学習において、「食べ物の魅力」を表す言葉を集め、自分のおすすめの食べ物の魅力を紹介させた。最初に食べ物の魅力を伝えるための観点を立て、ロイロノートを用いて、マッピングで言葉を集めた。次に、集めた言葉の中から、自分の伝えたいことが伝わる言葉を選び、紹介文を百字程度でロイロノートにまとめさせた。そして、紹介文を一人ずつ発表した後、共有ノートを用いてお互いに評価させた。



【紹介文を書こう】
私が紹介したい食べ物は愛媛県の郷土料理でもある鯛めしです。祖母が作った優しい味わいの鯛めしは、鯛の出汁もしみてふっくらご飯です。具材には甘みのある玉ねぎや歯ごたえのあるにんじん、ぷりっぷりの鯛の身などがはいっています。あつたかく、あっさりしている鯛めし、おこげの香ばしい匂いの鯛めしにいつもあたたかい気持ちになります。

「香ばしい香り」「ふっくらご飯」などの表現が美味しそうと感ぜられるので、とてもいいなと思いました。

鯛めしの事を具体的に書いていてとても美味しうだと思いました。

ふっくらやぷりっぷりのなど紹介したい食べ物の食感、見た目が上手に書けていて美味しそう、食べたいと思いました。話す速さがちょうどよく聞きやすいです。

「優しい味わい」や「香ばしい」という言葉遣いがとても良いと感じました。「ぷりっぷりの」など効果音的なものもつけていて、とても想像しやすく、分かりやすかったです。



マッピングを活用したことにより、似た意味の言葉や修飾する言葉を考えたり、言葉同士を比較させたりでき、語彙を豊かにする効果が得られた。また、紹介文発表後は、生徒がお互いの表現について良さを伝え合い、言葉の持つイメージを広げることができた。今後も、ロイロノートを効果的に活用して、積極的な言語活動を促していきたい。

☆教育委員会主幹講評☆

文章を書き慣れていない生徒にとって、内容を発想したり、それを適切に整理して文章の構成を考えたりすることは難しいものです。このような時、マッピングなどの思考ツールを活用することで、自分の頭の中に雑多に入っている知識や情報、そしてアイデアを整理することができるようになります。今回のように、思考ツールをロイロノートを用いて活用することで、作成途中の思考ツールや文章を、生徒同士で互いに見せ合うことも可能となり、考えたり書いたりすることが苦手な生徒は、発想のヒントや書き方の例を得ることができます。文章を書くことが得意な生徒も、更に発想を広げることができるなど、論理的な文章が書けるようになるために有効です。